

1時間 1980円 で使える!

24時間 対 予約制トラクタ



農機シェアリング(共同利用)で農家を応援

亀岡市×クボタ

新規就農者や若手農家に好評

亀岡市とクボタが協力して今年5月から同市旭町で始めた「農機シェアリングサービス」が市内の新規就農者や若手農家に好評だ。このサービスは、クボタが保有・管理する農機(21馬力トラクタ)を会員登録した農家が共同利用する仕組み。操作講習会に参加して会員登録したユーザー農家が専用サイトで予約し、送信されたロック解除パスワードを使って保管場所から亀岡市旭町で開催された操作講習会で試運転する農家ユーザー(7月21日)。

トラクタを持ち出す。圃場までの移動や、使用後の清掃、給油をユーザー自身で行うことで利用料金を1時間1980円(税込)と低額に設定している。このサービスには定期的なメンテナンスと車両故障や事故に備えた保険料も含まれるため、農家は安心して利用できる。

1時間単位で必要時間だけ利用することが可能で、従来のレンタルサービスでは難しかった24時間対応が可能となっている。

農機シェアにより、農家は初期投資の負担をかなり減らせるメリットがある。「トラクタを購入せずに営農できる環境を整えて、新規就農者の増加と確実な定着につなげたい」と亀岡市農林振興課は期待する。

7月9日にクボタと農機シェアリングサービスに関する協定を締結した亀岡地域農業再生協議会の神崎弥会長(農業委員会会長)は「操作講習会に参加すれば誰でも会員登録できるのほ、多くの農家利用してほしい」と話している。

「農業経営塾」で飛躍めざせ!

経営理念と実現戦略を磨く 受講生を募集

京都農業の次世代経営人材を育成する「京都農業経営塾」(10月18日開講、全8回、府農業会議主催)が、行計画に置き換えて発表を2年ぶりに復活。10月8日まで受講生を募集している。この経営塾では、「自分

が農業を通じて実現したい目標と実現戦略」を徹底的に考え、各自が具体的な実行計画に置き換えて発表を繰り返して、経営者の意識を高めて飛躍をめざす。先進的な農業経営の事例研究や、自身の経営での人材育

成、財務分析、販売戦略の検討を通じて、経営者に必要な能力を鍛えあげる。オンライン講義やウェビナーのほかに、個別経営相談を通じて専門家のアドバイスを受けながら事業計画を作成できるのも経営塾の魅力だ。

来年3月の研修終了後も、京都農業の発展をリードする次世代経営者のネットワークとして卒業生の活動を支援する予定だ。

経営塾の参加費は1人3万円。受講の問い合わせ・申し込み先は、府農業会議(京都府農人育成センター) ☎075・417・6847、℡075・417・68070まで。

「お茶と宇治のまち歴史公園」が開園

宇治茶の魅力や宇治の歴史・文化を情報発信する「お茶と宇治のまち歴史公園」が8月21日にオープンした。歴史公園には、「史跡ゾーン」と「交流ゾーン」が整備され、史跡・宇治川太閤堤跡が再現されている。史跡ゾーンには、安土桃山時代に宇治川太閤堤が築造されてから埋没するまでの変遷と、時間の経過とともに砂が形成された茶園として利用された江戸末期から明治初期の様子を再現。この茶園では茶摘みを体験できる。

交流ゾーンには「お茶と宇治のまち交流館(愛称・茶つな)」が誕生。宇治茶と宇治の歴史を紹介するミュージアムや抹茶づくり・製茶・茶道・お茶の淹れ方・茶会などの体験プログラムを通して、宇治茶の魅力を体験できる。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言中(9月12日まで)は「交流館」と駐車場の利用を中止するが、屋外の茶園や太閤堤跡の見学と散策はできる。詳しくは、来園前にホームページ(https://uji-chamuseum.com/)を確認が必要だ。

(宇治市農業委員会)



京都農業経営塾(昨年2月修了)の受講生



江戸末期から明治初期の茶園を再現した史跡ゾーン

京 都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
府庁西別館内
075・441・3660

女性委員が「つないで発信」

八幡市でキュウリ、九条く育つ。野菜の成長を見るのが楽しい」と満面の笑顔で話す。今年、ふるさと農園(耕治さんの研修先)と一緒には、キュウリの最盛期で、毎日約5千本を出荷している。

鮮な野菜を直売。お中元用にオリジナルデザインの段ボールを用意するなど、消費者に喜んでもらうための工夫を重ねている。

(八幡市農業委員会・猪飼美和子委員)

Instagramで野菜の魅力を発信



八幡市 畑中悠香さん

自慢のキュウリを紹介する畑中悠香さん・耕治さん夫妻

故郷の田園風景を後世に!

町役場を定年退職後、昨年7月まで農業委員を2年間務めた松尾純一さん(85)は、若い頃、故郷の素晴らしい風景を撮りながら写真を撮ることが大好き。「故郷の素晴らしい風景を後で、町職員時代には府の写真展に世に残したい」という松尾さんで、最優秀賞の受賞経験もある。の写真は、委員を退任後も「農業委員会を取り組んだ一町内業委員会だより」に掲載されて、小中学校の田植え体験の写

精華町 松尾純一さん

農deまらきら



田園風景を撮影する松尾純一さん(写真左下は昨年9月の「せい」が農業委員会より)を飾った写真(宇研都市に棚田!!)

宇研都市に棚田!!
宇研都市(宇治市)の棚田に撮影された写真(宇研都市に棚田!!)を飾った写真(宇研都市に棚田!!)

お知らせ

「京都府田舎くらしフェア」中止
新型コロナウイルス感染防止のため、8月28日の「京都府田舎くらしフェア」は中止します。